

10年前の経験を、今回の備えに 令和8年熊本地震を振り返って

福田病院 病院長 河上 祥一

7月28日夕方、熊本を地震が襲い、福田病院でも震度5の揺れを観測しました。当院は10年前の熊本地震で震度7を経験しています。その経験と教訓をもとに、この10年間、災害時にも周産期医療を継続できる体制づくりを進めてきました。

その一つが、免震構造の令和館と、4階医局に設置した非常電源を備える防災対策室です。地震発生直後から関係者が対策室に集合し、各部署の状況をホワイトボードに集約しながら、患者さんの安全確認と今後の対応を協議しました。

今回の地震による院内の被害は幸い軽微で、病棟や分娩室、手術室の機能は維持されました。地震後も分娩や帝王切開を含め、必要な周産期医療を通常通り継続することができました。実際、地震当日の分娩は13名、翌日も14名と、地震発生後も多くの新しい命を迎えています。

発生時は外来終了間際であったため、予約変更を可能とし、会計は後日として早期の帰宅を促しました。また、診療継続が困難となった関連施設のまつばセレディースクリニックから、母体7名、赤ちゃん5名を受け入れ、全員の安全を確認した午後11時に当日の対応を終了しました。

翌朝8時から対策会議を再開し、その後も朝夕2回の会議を継続しました。7月31日未明には院内の一部が停電しましたが、非常用発電設備に切り替え、双胎・破水の妊婦さん1名を熊本大学病院へ搬送。空調が使用できない中でも、外来、病棟、分娩、手術を継続し、同日午前11時過ぎには停電も復旧しました。

幸い、その後大きな地震はなく、8月1日には対策会議を終了しました。まつばセレディースクリニックも8月12日に婦人科外来、19日に妊婦健診を再開し、10月1日の全面再開に向けて準備を進めています。

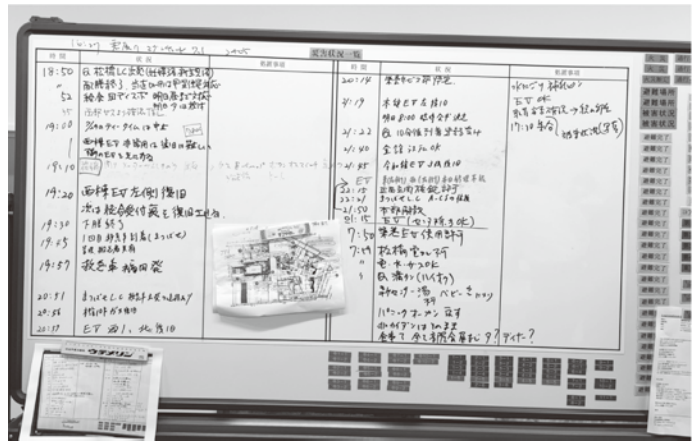
10年前の経験を忘れず、施設を整え、備えを重ね、職員一人ひとりが災害時の役割を意識してきたことが、今回、診療を止めることなく周産期医療を継続できた大きな力となりました。今回の経験も新たな教訓として次の備えにつなげ、これからも地域の皆さまの命と安心を守る周産期医療を継続してまいります。



S N S を活用して、地震後の対応や協力をお願いなどの情報を発信



地震発生直後から行った緊急対策会議の様子



多くの方々に支えられた令和8年熊本地震

まつばセレディースクリニック 院長 田中 博明

令和8年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。発災直後、当院におきましても一部設備の損壊やインフラの停止が発生し、一時的に診療体制へ影響を及ぼしました。しかし、患者様の安全確保を最優先とし、スタッフが一丸となって迅速な対応と復旧作業に努めました。また、福田病院をはじめ関連施設、関係者の皆様からの多大なるご支援もあり、早期に通常に近い体制へ復旧できましたことに深く感謝申し上げます。

現在は落ち着きを取り戻しつつありますが、分娩再開に向けて準備を進めているところです。分娩を一時中断しており、皆様には多大なるご迷惑をおかけしておりますが、これを機に改めて院内の様々な体制を見直し、より安全な環境づくりに努めてまいります。今後も地域の皆様に安心して医療を受けていただけるよう、職員一同、全力で取り組んでまいります。



臨時診療所を作り、みんなでミーティングを行いました

不屈の精神で立ち向かう

八代レディースクリニック 院長 桑原 三郎

あの日、診療中の突然の揺れの中、外来継続できる？、病棟は誰もケガしてない？、LDRでお産進行中の2人は無事？ 状況把握のため病院全体を駆けまわりました。患者さんを避難誘導中に、窓から日本製紙の煙突が1本折れてなくなっているのを見て、尋常なことではないと改めて理解した次第です。幸いにも患者さん、スタッフともにケガはなく、お産も無事に終わりました。

断水にはなりましたが、電気・ガスは止まらず、病院には大きな被害はありませんでした。スタッフの必死の片付け作業のおかげで、翌々日には通常診療が再開できています。

今回、役にたったのは、使い捨て哺乳瓶、防災用赤ちゃんスリング、休まず働いてくれたスタッフのための防災食でした。また、今後に備えて考えているのは、現在用意している自家発電装置に加え、数日間電気供給可能な、ガスによる非常用発電機の設置です。

震災直後から、福田病院をはじめ、たくさんの方々より支援物資が届きました。支えられて今があります。感謝しかありません。これからも何事にも屈せず、地域の頼りになる産婦人科として、たくましく根付いていきたいです。



震災の夜は、患者さんと赤ちゃんみんなで一夜を過ごしました

当院では里帰り分娩をお受けしています。

分娩は予約制ではありませんが、下記のことをお願いしております。

転医時の予約受付 福田病院予約センター FAX 096-312-4842 電話 080-8086-5529 電話 080-8921-7181 【受付時間】日・祝をのぞく 9:00～17:00	
《転医のご予約について》 ①ご紹介元医療機関よりFAXでお申込み ②ご本人よりお電話にてお申込み のいずれかでご連絡ください。 ※受診予定の1か月前迄にお申し込みをお願いします。 なお、緊急の場合は病院代表(096-322-2995)にお電話にてご相談ください。	

- ・妊娠12週以降の方が対象となります
- ・ご予約の時間は1F受付にご来院いただく時刻です(診察開始時間ではありません)
- ・当日の診察状況や緊急手術などの状況により待ち時間が長くなる場合があります

- 《持ってくるもの》
- ・母子健康手帳
 - ・医療保険を証明するもの(資格確認書／マイナ保険証)

- ・紹介状
- ・検査データ
- ・産科医療補償制度登録証控え(登録がお済みの場合)

詳しくは福田病院ホームページをご覧ください。

